

## 第5回 奈良県河川整備委員会 議事概要

1. 日 時 平成13年9月10日(月)
2. 場 所 フジタホテル 1F ガーデンルーム
3. 出席者 委 員(敬称略) 池淵周一、澤井健二、木村 優、御勢久右衛門  
近江昌司、荻野芳彦、北口照美、榊原和彦、伊藤章子  
奈良県 土木部次長(技術)、河川課長、 ほか
4. 議 事
  - (1) 第1回から第4回委員会までの議事概要の確認
    - 事務局より、議事概要資料の説明
    - 委員長から次の事項に関して意見があった
      - ・次回からはその都度、前回の議事概要について確認をとること。
  - (2) 河川整備計画(原案)に対して寄せられた意見の紹介
    - 事務局より、資料:「計画策定に際し寄せられたご意見」を説明
    - 委員長からこれら意見による原案の修正内容について説明するよう指示があった。
  - (3) 河川整備計画(原案)の修正について
    - 事務局より、「原案と修正後の案の対比表」を説明
    - 各委員から次の事項に関して意見があった
      - ・全体としては、初めの出発点から現在まで、すごい改善・改良がなされて非常に具体的に目標がはっきりしたと思う。ただ、どうしても親水や利水の面については具体的なものが見えてこない感がある。
    - (事務局) 環境面・利水面については必要性は認識しているが、具体的に書きにくいため、参考資料においてできるだけ例示させて頂いた。
    - ・第2章でいきなり河川工事でてくるが、計画そのものの話がなく、いきなり手段である工事の話が出てきている。計画の話が見えてこない気がする。
    - (事務局) 河川法で定められている事項や国の方の指導も若干ありこのような形になっている。川の将来のあり方については、第1章第3節「河川整備の目標」に示している。
    - ・現状に対する課題は記述されているが圏域の将来についてどのように考えているかが整理できていないように思う。
    - (事務局) 現状は、この地域に計画は様々有るが、20年後、この地域のがどのようなになっているかというランドデザインは見あたらない。河川整備計画については社会状況の変化や新たな知見や技術開発といったものを踏まえて適宜見直しを行っていきたいと考えている。

・奈良県全体の河川整備の具体的な目標を、まず簡単でよいからあげるべき。

・先に、河川整備の理念や方針があって具体的な各河川の整備目標があるという形にできないものか。

(事務局) 大和川流域の川の将来のあり方を第1章第3節のあたりに示したいと思う。

・河川工事が出てくる前に、各河川ごとのあるべき姿は示して欲しい。

(事務局) もう少し構成を考えたい。

・河川課が責任を持ってすべて行うという書き方ではなく、住民も参加してどうするかというようなことを書ければ、良い原案になってくるのではないか。

・川づくりの基本理念は一番前に持ってくることはできないか。第1章の前に序文のような形で入れることはできないものか。

(事務局) 努力します。

・大和川本川の整備計画ができていないから、いきなりこの圏域について記述するのが難しいかもしれないが、資料編にある基本理念を最初書けばよい。

(事務局) 基本理念をできるだけ前の方に持ってくるように努力します。

・いかに、計画に奈良県の個性を出すかを積極的に考えていただきたい。

#### (4) 大和川水系平城圏域の概要について

●事務局より、①資料及びプロジェクターにより概要説明

②現地視察のルートについて説明

・次回は今回の委員会の意見を踏まえ、概ね了承が得られるよう最終的な形にしていただくよう努力して欲しい。平城圏域の整備計画の内容について議論を開始したいと考えている。